

 **PGM 世界ジュニアゴルフ選手権
日本代表選抜大会**

西日本決勝大会 最終日 結果 (佐賀)

結果のお知らせ

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝 最終日>

- ◇2016年4月3日(日) 天候:曇り
- ◇佐賀・若木GC (15-17歳の部男子 6645ヤードほかカテゴリー別)
- ◇出場 147人

<PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝 最終日 概況> *所属校・学年は2016年度。

IMG A世界ジュニアゴルフ選手権(7月12~15日、米サンディエゴ)に出場する日本代表14人が決まった。高年齢層では代表を争う3部門と優勝を争う1部門でプレーオフが行われるなど、白熱した戦いが繰り広げられた。15-17歳の部男子は、河本力(愛媛・松山聖陵高2年)が通算3オーバー147で1位となり、代表となる2位争いは通算5オーバーで並んだ3人のプレーオフで西脇まあく(大阪・興国高2年)が2ホール目で抜け出した。同女子は、平岡瑠依(大阪・大阪学芸高2年)が通算3オーバーで制し、1打差2位のプレーオフで奥山友梨(熊本・熊本国府高1年)が日本代表を射止めた。13-14歳の部男子は松田正史(熊本・花陵中1年)が通算4オーバーで圧勝し、2位はプレーオフで豊里裕士(沖縄・恩納中3年)に決まった。同女子では、9オーバーで並んだ比嘉里緒菜(沖縄・嘉数中2年)と長谷川せら(岐阜・稲羽中1年)が日本代表となり、順位を争うプレーオフは比嘉が制した。

世界ジュニアシード選手を除く残る日本代表14人は、東日本決勝大会(4月23、24日、茨城・美浦GC)で決定する。

IMG A世界ジュニアゴルフ選手権日本代表は以下の通り。

▽15-17歳の部男子

【1位】河本力(愛媛・松山聖陵高2年) = 147 【2位】西脇まあく(大阪・興国高2年) = 149

▽同女子

【1位】平岡瑠依(大阪・大阪学芸高2年) = 147 【2位】奥山友梨(熊本・熊本国府高1年) = 148

▽13-14歳の部男子

【1位】松田正史(熊本・花陵中1年) = 148 【2位】豊里裕士(沖縄・恩納中3年) = 156

▽同女子

【1位】比嘉里緒菜(沖縄・嘉数中2年) = 153 【2位】長谷川せら(岐阜・稲羽中1年) = 153

▽11-12歳の部男子

【1位】縄田領一(山口・高川学園中1年) = 156

▽同女子

【1位】杉浦愛梨(愛知・高浜中1年) = 151

▽9-10歳の部男子

【1位】橋本拓英(三重・南が丘小4年) = 163

▽同女子

【1位】清本美波(愛知・向山小5年) = 156

▽7-8歳の部男子

【1位】梶谷駿(岡山・総社東小3年) = 140

▽同女子

【1位】豊田ヒカル（熊本・築山小3年） = 174

※同スコアはプレーオフによる

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝 最終日 ハイライト1 >

◇15—17歳の部男子◇最終日◇4月3日◇佐賀・若木GC（6645ヤード、パー72）

河本力（愛媛・松山聖陵高2年）が、通算3オーバー147の1位で世界ジュニア日本代表入りし「安心しました」と笑顔を見せた。1打差2位からのスタートに「目標はイーブンパー。優勝に絡んでいるのは分かっていたので、ボギーにしても焦らずやろうと思った」という。インスタートの12番で先にバーディーが来て楽になった。折り返して1番で右の林に入れてダブルボギーにしたときは「さすがにちょっと焦りました。でもがっつかずに自分の気持ちをコントロールできたかなと思います」と振り返った。「海外でゴルフをするのは初めて。特に米国でゴルフをするのがあこがれでした」と夢が1つかなかった。一昨年13—14歳の部を制した杉原大河（世界ジュニアシード選手）とは大の仲良しで「一緒に行こうといわれていたので約束を守れた。優勝を目指して頑張りたい」と意気込んでいた。

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝 最終日 ハイライト2 >

◇15—17歳の部女子◇最終日◇4月3日◇佐賀・若木GC（6204ヤード、パー72）

平岡瑠依（大阪・大阪学芸高2年）が、最終18番で逆転して1位で世界ジュニア日本代表になった。1打差をつけられていた奥山友梨（熊本・熊本国府高1年）が最終ホールで池に入れるダブルボギー。パーで収めて1打抜け出した。「2日間だと、いつも初日よくて最終日に80とかたたいていた。前半39で折り返して、同じパターンになりそうだった」と振り返る。11番で奥5メートルを入れ、12番でも3メートルを入れて奥山を追走。17番のバーディーで1打差に迫ったことで逆転劇が生まれた。「世界ジュニアでも今日の後半のようなゴルフをしたい。4日間大会は初めてなので、まずは予選を通ること」と、初の世界舞台に臨む。

< PGM 世界ジュニアゴルフ選手権 日本代表選抜大会 西日本決勝 最終日 ハイライト3 >

◇13—14歳の部男子◇最終日◇4月3日◇佐賀・若木GC（6645ヤード、パー72）

松田正史（熊本・花陵中1年）が1打差2位でスタートしてイーブンパー72をマークし、通算4オーバー148にまとめ、2位に8打差をつける圧勝で世界ジュニア日本代表になった。「おもしろかった。きょうは崩れちゃいけないと思ってプレーした」という。インスタートの17番パー3で池に入れ、3打目も手前エッジにショートしたが「まっすぐなラインで自信があった」と10ヤードほどを直接入れてボギーでしのいだ。2番ボギー後、4番、6番で1メートルにつけて2バーディーを奪った。それでも慎重にプレーし、最終9番パー5の第2打をうまく刻んだところで「確実に優勝と思った」という。「優勝できていい気分です。世界にいけるなんて信じられないけど、行くからには優勝を狙いたい。悪い結果でもいい経験になると思う」と、世界との戦いを楽しみにしている。



写真： 左／河本力（15-17歳の部男子）、中／平岡瑠依（15-17歳の部女子）、
右／松田正史（13-14歳の部男子）

写真クレジット：© I J G A 2 0 1 6